

く ら ふ と

県育協だより

発行 県子ども協会
鳥取県家庭教育協会
広報委員会
第19号
平成26年3月

「第58回全国私立保育園研究大会」 が鳥取県で開催されます!!」

第58回全国私立保育園研究大会(鳥取大会)

実行委員長 福田 泰 雅

このたび鳥取県子ども家庭育み協会では、平成27年6月17日(水)、18日(木)、19日(金)に、第58回全国私立保育園研究大会(鳥取大会)を開催することになりました。鳥取の私立保育園連盟としては実に36年ぶりの全国大会開催です。

自身には気が付いていません。そのようにして近代の価値に縛られた発達観が蔓延しています。

大会のテーマは、大会全体の性格を決定づけますので、どの大会でも大変悩ましいところですが。このたびは「未来を創る子どもたちの生活を育む」とし、副題として「アートが開く子どもの世界、大人の生活」といたしました。

しかし、そのような価値観で人の一生を考えてしまうと、現代社会の中に潜むひずみや課題の存在も分からないまま苦しみを生産してしまいます。つまり現状の肯定だけでなく批判的精神も育たなければ、それに気づくことすら不可能なのです。そして、自ら学び、自ら未知の問題に対してアプローチしていきける能力を持たなければ、真に心豊かな生活を送ることはできません。

理由の一つは、近代科学を利用して大量生産大量消費の社会を作り出し、大きく儲けを出すことに価値を見出し、そのために誰も「できること」に縛られた発達観、あるいは教育観を持ったことに対する警鐘です。「できること」に縛られると誰もが同じようにできることを求めます。その結果「できないこと」が気になるようになります。

幸いなことに、あらゆる時代を超えて行くために必要な能力の種類は、赤ちゃんにあらかじめ備わっています。「感じ、考え、表現する保育」という営みには、我々が今まで考えていたよりもっと大きな意味を持っているのです。

「強いこだわりを持っている」「ことを基準にそのような子を発見しよう」とします。ところが「できないことに強くこだわっている自分

今大会を通じて、創造する生活の意味や喜びを考えるとともに、子どもを保育の中心にする重要性を認識し、子どもを語り、保育の力を語り合える大会にしたいと思えます。

参加者は全国より1,600名をお迎えする予定です。小さい組織であるため苦勞もありますが、

第58回 全国私立保育園研究大会「鳥取大会」

2015/6/17(水) とりぎん文化会館「梨花ホール」	2015/6/18(木) とりぎん文化会館ほか	2015/6/19(金) とりぎん文化会館「梨花ホール」
11:30 受付	9:00 受付	8:45 開場
12:20 歓迎アトラクション 麒麟獅子	9:30 分科会(午前の部)	9:25 分科会報告
12:30 開会式・表彰式	12:00 昼食休憩	9:50 記念講演「調整中」 学習院大学文学部教育学科 教授 佐藤 学
13:30 行政説明	13:00 分科会(午後の部)	11:20 休憩
14:10 基調報告	16:00 分科会終了	11:30 閉会式
14:40 休憩	18:00 懇親会	12:05 終了
15:00 シンポジウム、テーマ「保育とアート」 コーディネーター:森 眞理 シンポジスト:磯部錦司、 ピート・ムーアハウス、田中嘉久	20:30 懇親会終了	視察旅行出発
17:00 一般参加者終了		
17:20 表彰者記念撮影		
17:30 分科会打ち合わせ会		
18:00 顧問参与会議		

※内容等については、変更となることがありますので御了承ください。

第57回全国私立保育園研究大会事前打ち合わせ会・平成25年度全国研修部長会議・平成25年度第4回全国研究大会企画委員会報告

ひかり保育園 村島 満

2月4日～2月5日にかけて、岩手県盛岡市に於いて、第57回全

国私立保育園研究大会事前打ち合わせ会・平成25年度全国研修部長

会議・平成25年度第4回全国研究大会企画委員が開催されました。第57回大会の岩手県に続いて、第58回大会の開催地となる鳥取県からは、大会実行委員長以下5名の実行委員が参加しました。



会場となった「いわて県民情報交流センター」は、自然光や地熱といった自然エネルギーを活かした設計が特徴の施設で、アトリウムを中心に各施設が有機的に交わる、柔らかなリラックスした空間が印象に残りました。

4日午前中に開催された事前打ち合わせ会では、6月の研究大会の提案者、座長、幹事、助言者といった方々が分科会ごとに集まり、主に当日の運営等について打ち合わせが行われました。どの分科会でも熱心な話し合いがもたれており、6月の本大会に向けて意欲的に準備に取り組まれている様子が伺えました。

という演題で、えさし郷土文化館館長の相原浩二氏にご講演頂きました。奥羽州藤原氏を中心とした平泉文化は平安末期の浄土思想の流れを汲む平和を希求する文化であり、実際に奥羽地方に1000年の平和をもたらした。その影響は局地的なものに留まらず、全国にまで及ぶ広範囲なものであったことなど、時空を超えた平泉文化の広がり大きさについてお話していただきました。

5日に開催された全国研修部長会議では、主に、第58回鳥取大会の分科会提案を担当する組織の調整が行われました。全私保連の研究大会では、毎年提案を希望する組織が分科会提案予定数を上回る状態が続いています。今回も希望数が多いため、何とか話し合いによって譲り合い、提案組織を決定することが出来ました。27年の鳥取大会に向けて、早くも全国各地で熱心に研究が進められていることを目の当たりにし、改めて開催地の責任の重さを実感させられました。

全国私立保育園連盟では6月の研究大会開催に向けて、例年2月に開催予定地を会場に事前打ち合わせ会(全国研修部長会議)大会



企画委員会が開催されています。

鳥取県でも来年の2月には、このたび岩手県で開催されたのと同じパッケージで事前研修会を開催することとなります。27年2月の事前研修会として6月の研究大会に向けて、今年度はいよいよ準備が加速してゆくことになりそうです。

大会実行委員会では、会員の皆様方のご協力を頂きながら一つ一つ丁寧に準備を進めてゆきたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願い致します。



第61回鳥取県保育推進研究大会(全大会)

ひかり保育園 村島 満

平成26年1月19日、鳥取県立倉吉未来中心を会場に第61回鳥取県保育推進研究大会が開催され、県内保育関係者約600名が参加しました。



開会式では、大橋会長の主催者挨拶、来賓の方々のご挨拶に続いて表彰式が執り行われ、19名の方々が鳥取県子ども家庭育み協会会長



彰をお受けになりました。永年に渡る保育会へのご貢献に改めて感謝申し上げますと思います。

開会式に続いて関西大学人間健康学部教授 山縣文治氏を講師にお迎えして「新支援制度と保育のありかた」と題してご講演を頂きました。時に会場との対話をまじえながらの和やかな雰囲気の中、山縣先生ならではの豊富なデータと明快な切り口により、鳥取県内の現状を踏まえつつ、戦後から現在に至るまでの子育て支援政策の変遷とその背景、支援制度の全体像などについて、丁寧に解説をして頂き、多くの参加者が改めて制



度改正の意味について、自分なりの見識を深めることが出来たのではないかと思います。平成27年度に予定されている新制度導入が目前に迫り、いよいよ制度改正の後に迎えてくる風景が明らかになってきました。公定価格の取り扱いなど、依然として大きな未確定部分もあるものの、平成26年度は多くの保育所で今後の園の在り方について大きな決断が迫られることとなります。また、保育士から保育教諭への移行など、保育現場で働く職員も大きな変化を経験することになります。そのような状況のもとで、山縣

先生のご講演を通して、改めて自分たちの立っている位置を確認し、新制度導入に向けてどのような準備を進めてゆけば良いのか確認する機会を得られたことは大変有意義なことではなかったかと感じています。欠けていたピースがそろい、新制度が私たちの目の前に完全な姿を見せてから準備を始めるのでは遅きに失することになりかねません。一人ひとりがアンテナを高くしながら、良き準備の時として、迎える平成26年度を過ごしてゆきたいと思っております。

第1分科会 「支援制度と保育のあり方」

向山保育園 倉光智奈津

新支援制度と保育のあり方というテーマで、全体会に引き続き講演が行われました。何度聞いても、難しい内容であり、私のような者が報告をするというのは、大変読み苦しいところがあるかとは思いますが、その中の一部を報告いたします。

幼保連携型になった場合、園庭の場所や、給食室の設営などの実際の運営の問題点も出てきているようです。幼稚園型の中には、市町村と保育園の抵抗で幼保連携型になれなかったということもあるようです。民営では地域を越えた経営、大学付属幼稚園は、少しずつ幼保連携型を参入しているとの事です。地域ごとの傾向予測として、鳥取県の場合、倉吉市、境港市はできるだけ、3歳以上の入所を目指し、幼保連携型か、保育所型認定こども園。公営保育所の民営化は受諾者次第。私立幼稚園は連携型

認定こども園を強く志向するのは、ということですが。また、米子市、鳥取市は、公営保育所の民営化は必須であり、公営の幼保連携型認定こども園残しの必要性が課題となってきました。民営の保育所は保育所か幼保連携型の選択。私立幼稚園は幼保連携型にならない場合幼稚園型になるのではという事でした。

さて、私たち保育園はこれから選択を考えるのに、それぞれのメリット、デメリットを話されました。保育所は利用者が確保できると経営が安定しますが、逆に子どもが減少すると、経営難になり、周辺の動きに左右されがちです。保育所型認定こども園は子どもへの減少に対しての対応力は少しあり、変化への負担が少ないですが意味があまり感じられない。幼保連携型認定こども園になると、子どもへの減少への対応力は高いが、教育標準時間の導入で収入が減る場合があります。親の認識の勘違いで、教育的要素があるのではと、兄弟分離になってでも幼稚園の認定こども園に入れたがる方もあるとの事です。ただ、鳥取県の判断基準は幼稚園がほとんどない中で、実質は少子化をどう読むかがポイントとなるようです。要保育認定により、保育標準時間がどれだけ確保できるかということもあります。これからはやはり子ども、保護者、地域に愛される施設になっていかななくてはなりません。経営が安定することで、充実した保育にもつながっていくと思えます。時代は変わり、今、私も何がベストなのかまだ良く分からないところもありますので、このような研修はこれからも必要になってくるのではと思います。保育の資質向上、安定した経営、両方の視点でこれからも日々勉強だと感じまし



第2分科会に参加して

湖山保育園 有本 睦美

第2分科会では講師に子どもの虐待防止ネットワーク鳥取理事 田村勲氏を講師にお迎えして「保育者の専門性を生かした保護者支援とは」について講演をしていただきました。

福祉相談センターでご経験されたことを元に保育士とはどうあるべきなのか。子ども、家庭、保育士同士の連携をどう繋げていくのか、いろいろな想いを含めお話しをしていただきました。保育士の力量とは何かということ、四つの力量をお話して下さいました。

- ① 現代社会、家族、家庭の問題を追及する力
- ② 家庭の実情を細やかに受け止める力
- ③ 保育士同士のチームワーク力
- ④ リーダーシップの和(輪)

保護者と子どもとの受け止め方はどうなのか。困った保護者である前にどこに困っているのか。人間関係、仕事、生活など保護者一

一人が困っていることは様々である。正しく見極めてあげること

子氏を迎え、「子どもの心と体を作る

手のひらの上で豆腐を切るなど、驚くような事もできるようになる

科学実験教室を開き、「バネがついている球を水に入れるとバネの

方もたくさんありました。作り終えた所で時間が来てしま

の特性を十分に知らないままに子育てを始める実態がある。そうい

また、保育士のチームワークはどうなのか。個人だけでは決して

坂本先生は、五感を使った基礎体験教室を開いておられ、食育は

アレルギーを持つ子供への対応についても、自分で自分を守る力

今回は大人参加者という事で一から作りましたが、子ども達と

作り終えた所で時間が来てしま

の特性を十分に知らないままに子育てを始める実態がある。そうい

講演中何度も聞かれた『響き合う』という言葉。

子どもの脳の発達のパークについて、第1段階は、6歳までに体験

科学実験教室を開き、「バネがついている球を水に入れるとバネの

今回は大人参加者という事で一から作りましたが、子ども達と

作り終えた所で時間が来てしま

の特性を十分に知らないままに子育てを始める実態がある。そうい

講演中何度も聞かれた『響き合う』という言葉。

子どもの脳の発達のパークについて、第1段階は、6歳までに体験

科学実験教室を開き、「バネがついている球を水に入れるとバネの

今回は大人参加者という事で一から作りましたが、子ども達と

作り終えた所で時間が来てしま

の特性を十分に知らないままに子育てを始める実態がある。そうい



第3分科会に参加して

灘手保育園 米中 淳子

第3分科会では、講師にサカモトキッチンスタジオ主宰 坂本廣

先が尖っていて重心が前にある良く切れるものだと、使い方をしっ

今出さんはおもちゃを通じて子ども達が考え、工夫する機会を積

今出さんのお話を聞いた後は「作ってあそぼう」の実技を行いました。

作り終えた所で時間が来てしま

の特性を十分に知らないままに子育てを始める実態がある。そうい

第4分科会に参加して

賀露みどり保育園 和田 知之

第4分科会では84人の参加者が集う中、作って遊ぼうと自分がわ

今出さんのお話を聞いた後は「作ってあそぼう」の実技を行いました。

作り終えた所で時間が来てしま

の特性を十分に知らないままに子育てを始める実態がある。そうい



第二回障がい児保育研修会に参加して

やばせこども園 豊嶋美智恵

楽しみにしていた鳥取大学教授小枝先生の講演でした。今どこの

家庭の様子と集団での様子はかなり違うのです。園ではつまづき

障がい児保育の現状が多く、子ども

家庭の様子と集団での様子はかなり違うのです。園ではつまづき





食育研修会に参加して

すくすく保育園 上根美智子

平成25年度鳥取県保育所(園)第2回食育研修会が11月16日福祉人材研修センター、17日米子コンベンションセンターにて開催されました。

講師に琴浦町立浦安小学校栄養教諭 高木千穂先生を迎え、テーマ「子どもの育ちを支える食育」子ども育ての視点からの講演をしていただきました。

その講演の内容は、①学校給食センターの概要 ②食育推進の流れ ③小、中学校の取り組みなどを分かりやすくお話しされました。

ムにも触れられ、人間関係の中で、安心が得られる経験の積み重ねがとても重要であることも話されました。

毎月19日の食育の日には、地産地消の意味やたくさんの人達が食事に関わっている事を知らせています。又食事は食材や作る人に感謝の心を持って何でも食べる子どもになって欲しいという思いを伝える日でもあります。

子どもの時から、赤黄緑の三色そろったバランスのとれた食事をすることが大切です。学校での食育の取り組みにより、卒業するまでには理解出来る子どもになってほしいとの事でした。

講演を聞き、園での私達の食育の取り組みが基礎となり、卒園した後も続いている事が分かりました。さらに食育の重要性を感じました。

乳幼児期に基本的な生活習慣を身につけ、食育のマナーや楽しく食べることを伝え、子どもの発達に応じたねらいや内容にそった年間指導計画をたて実践していきたいと思えます。

講演後、グループに分かれて意見交換をしました。その中で Q「園でも食材を三色の色分けをして知らせているが、「色」で知らせるのは難しく、どこまで理解できているか分からない」と言う問いに

A「絵本、紙芝居、声かけなどで繰り返し何度でも教える事が大事であるのでは」と助言がありました。

私達も今以上に菜園活動やクッキングなどで食材に沢山触れる経験をさせる事で子ども達の食事の様子をしっかりと見て食育がよりなどで、保護者への食事の大切さを伝えていきます。園と家庭との連携のもとで「楽しく食べる」・

「食べることに意欲のある子」に育てて欲しいと思います。



第2回目の「おもちゃ遊び」で

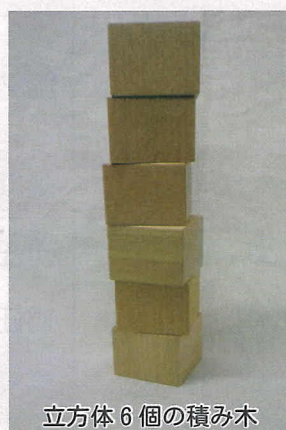
今回のテーマは積み木です。積み木というとその遊びは、遊び手である子どもが思い思いに積んだり、並べたり、色々な形を用いて何かしらを作るといった自由奔放なイメージがありますが、実はこの遊びは子どもの成長や発達に応じて遊び方がある程度定まった変化をします。

今回からの「おもちゃ遊び」は年齢を目安にしながら成長とともにある積み木遊びの変化について前・後編に分けて綴ってみたいと思います。子どもたちが積み木遊びを楽しむ上で皆様のかかわりの一助になれば幸いです。

積み木遊びの初めは1歳1ヶ月〜2ヶ月位と考えています。最初は「積んだり」、「崩したり」の遊びから始まります。その当時はとにかく崩すことが大好きで崩すために積むと申しましようか。その遊びも積むための指先のコツ

を積み、上手に積み重ねることができるようになると段々となくなります。

このような遊びの特性からこの時期に適した積み木の形は立方体(正方形)が適当と考えています。



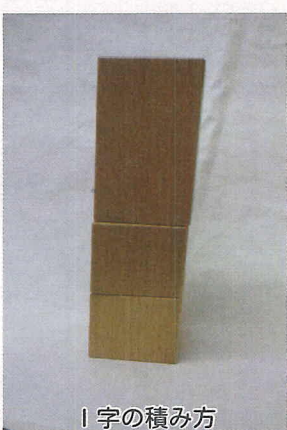
立方体6個の積み木

立方体が上手に積めるようになるとら直方体(長方形)を加えてあげます。その時(最初)の子どもの直方体の積み方は、ほとんどが横向きに積みます。



T字の積み方

この積み方を、T字の積み方と呼んでいます。この積み方は中心が取りにくいいため、そう高くは積み上げられず崩れてしまいがちですが、その遊びの繰り返しから直方体の積み方が横から縦に変化します。この積み方をI字の積み方と呼んでいます。



I字の積み方

右図のように直方体を縦向きに、I字状に積めるようになると中心が取れるので段々と高く積み上げることが出来るようになります。積み過程の中で下の積み木に対して上の積み木がずれていると合わせ(修

正)ようにする姿も見られるようになります。またI字状に積めるようになると立方体(正方形)と直方体(長方形)を分別した積み方も楽しめるようになります。



立方体と直方体の分別の積み木遊び

積み方がI字状となり高く積めるようになると、段々と崩れる、壊れることが嫌になるようです。そのくらいの時期に、今までの縦に積み重ねる遊びから、横に「並べる」「つなげる」「敷き詰める」といった遊び方に変化します。この遊びは崩れる心配のない安心の遊びです。またこの時期には直方体(長方形)を動かして「ブッブー(自動車)」というように見立てる遊びも始まります。

今回は積み木遊びの始まりから、2歳前後の横の遊びまでをご説明いたしました。



長くつなげる積み木遊び 2段目にさしかかっていますね

子どもの遊びは一つの成長表現であり、その中でおもちゃは子どもの成長を分かりやすく見せてくれます。故に私は子どもの遊びを見たり、かかわったりすることが大好きですし、その変化、成長に胸がときめきます。この積み木遊びの原稿を通して、その視点も皆さまにお伝え出来ればと思っています。次回はこの続き、後編を綴りたいと思います。

お問合せは

木のおもちゃ専門店「木や」 米子市米原ホープタウン2階 電話 0859(38)7339



保育園および園児をさまざまリスクからサポートします

保育園経営には、さまざまなリスクが伴います。(公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、保育園経営はもろんのこと、園児をとりまくリスクに関する各種保険を取り扱っております。

全私保連 保険制度 園児総合保障 共済制度 保育園児を24時間補償する共済制度(子ども総合保険)です。保育者にとっては一般契約に比べて団体契約による割引の適用で割安な掛金で補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。ご照会は、下記連絡先どうぞ。

(公社)全国私立保育園連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社・三井住友海上火災保険株式会社代理店 有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育園会館内 TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

この案内は全私保連保険制度・園児総合保障共済制度の概要についてご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。詳細は契約書である公営社団法人全国私立保育園連盟にお渡しする保険約款により、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

平成 26 年度 事業 計画

第58回全国私立保育園研究大会(鳥取大会)が平成27年 6 月17日(水)~19日(金)鳥取市「とりぎん文化会館」にて開催いたします。

期 日	事 業 名	場 所	備 考
平成26年 5 月20日(火)	代議員会	倉吉市 倉吉未来中心	
平成26年 5 月20日(火)	第 1 回施設長研修会	倉吉市 倉吉未来中心	
平成26年 5 月31日(土)	第 1 回障がい児保育研修会	鳥取市 福祉人材研修センター	
平成26年 6 月 1 日(日)		米子市 国際ファミリーホール	
平成26年 6 月 4 日(水)	第 1 回合同部会	倉吉市 倉吉未来中心	
平成26年 6 月14日(土)	保育士研修会	琴浦町 まなびタウンとうはく	
平成26年 6 月18日(水)~20日(金)	第57回全国私立保育園研究大会	岩手県盛岡市	全国私立保育園連盟
平成26年 6 月25日(水)~27日(金)	第28回保育を高める研究集会	山形県	日本保育協会
平成26年 6 月28日(土)	主任保育士研修会	倉吉市 地域交流センターアゼリアホール	
平成26年 7 月 5 日(土)	第 1 回乳児保育研修会	鳥取市 福祉人材研修センター	
平成26年 7 月 6 日(日)		米子市 米子コンベンションセンター	
平成26年 7 月11日(金)	初任・初級保育士研修会①	三朝町 三徳山 皆成院	
平成26年 7 月12日(土)	第 1 回食育研修会	倉吉市 倉吉未来中心	
平成26年 7 月17日(木)~18日(金)	第60中国地区保育研究大会	広島県広島市	全国保育協議会
平成26年 7 月25日(金)	第 2 回施設長研修会	倉吉市 倉吉未来中心	
平成26年 8 月30日(土)	第 2 回障がい児保育研修会	米子市 国際ファミリーホール	
平成26年 8 月31日(日)		鳥取市 福祉人材研修センター	
平成26年 9 月11日(木)~12日(金)	第34回青年会議全国大会	愛知県名古屋市	全国私立保育園連盟
平成26年 9 月頃	第 2 回乳児保育研修会	未定	
平成26年 9 月頃		未定	
平成26年10月16日(木)~17日(金)	第58回全国保育士会研究大会	香川県高松市	全国保育士会
平成26年10月21日(火)	初任・初級保育士研修会②	県内保育所	
平成26年10月22日(水)	初任・初級保育士研修会③	倉吉市 倉吉未来中心	
平成26年10月29日(水)~31日(金)	第36回全国青年保育者会議	北海道	日本保育協会
平成26年11月12日(水)~14日(金)	第58全国保育研究大会	秋田県秋田市	全国保育協議会
平成27年 1 月17日(土)	第 2 回合同部会	倉吉市 倉吉未来中心	
平成27年 1 月18日(日)	第62回鳥取県保育推進研究大会	倉吉市 倉吉未来中心	
平成27年1月28日(水)~1月30日(金)	第40回保育総合研修会	兵庫県神戸市	全国私立保育園連盟
平成27年 2 月 5 日(木)~ 6 日(金)	第58回全国私立保育園研究大会(鳥取大会)事前打合せ会等	鳥取市 ホテルニューオータニ鳥取	全国私立保育園連盟
未定	第 2 回食育研修会	中部	

※期日及び内容等については、変更となることがありますので御了承ください。

海に潜って素手でダイオウイカを捕まえたり、エルサレムに雪が降ったり。ホンの一年前にはBelieve it or not! できなかったことが次々と目の前に顕れた一年だった。今度はいったい何が見られるのか? 今から楽しみで仕方がない。(M・M)

人間年を重ねると、うっかり...という行動が多くなり、思いがけない自分では信じられない事が起こります。書類をどこに置いたか分からずあちこち探し回ったり、夕飯に食べようとレンジで温めた煮物が、そのままレンジの中で朝を迎える事が時々。脳の活性化と称して、スマートフォンでゲームの一人遊びにはまっています。(T・H)

新たな年を迎え、あっという間に3月。時間の余韻を楽しむ間もなく卒業式にまっしぐら。1年って本当にはやいですよね。

進級・進学を期待する子どもはキラキラ輝き、一つ歳をとる私は...微妙ですが、子どもたちの『笑顔』を栄養にまた1年、パワー全開でがんばります!(M・N)

先日部屋の模様替えの最中に腰がグリグリ...! 模様替えて気分はスッキリしたものの体が...。年齢を重ねるごとに、自分の身体とじょうずにつきあっていきたいと感じた休みの日だった。(H・M)

高3の娘: 動かなくなったので少しふくらんだ様子。

「肉団子みたい。」と言ったら「お母さんは白玉団子でしょ!!」と返ってきた。色が白くてふくらんという理由ですが、卒園式・入園式と続くので服がはまらなくならないよう私も気をつけなくては...人ごとではなかった!! (C・N)

